

学年	4年
----	----

	課題分析	授業改善策	改善状況
国語	<ul style="list-style-type: none"> 既習漢字や配当されている漢字が覚えられない児童がいる。 ローマ字への苦手意識が強い。 文の要点を捉えて話したり聞いたりすること、内容の中心をおさえて書くことが苦手な児童が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> 漢字やローマ字の家庭学習の機会を増やしたり、朝学習の時間を活用したりして定着させる。 書く分量に注意しながら、伝えたいことの内容を明らかにして文章を書く活動を増やす。（キラリノートを書く活動など） 	
社会	<ul style="list-style-type: none"> 学習に関連付けて、資料を活用し東京都の様子を考えることが苦手である。 健康な暮らしをするための様々な問題について、調べたことを身近なものとして捉え、解決する方法を考えられる児童が少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> 地図帳を活用する活動を増やし、資料を読み取る力をつける。 副読本を資料として活用させる。調べたことを新聞やリーフレットにまとめることで、自分の考えをもって学習に取り組ませる。 	
算数	<ul style="list-style-type: none"> 長さやかさ、重さなどの単位を正しく使えない。 三角定規や分度器、コンパスを使って正確に作図することも難しい。 計算力はあるが、応用問題でつまづくことがある。 	<ul style="list-style-type: none"> 導入の際、既習事項をしっかりと押さえ、繰り返し思い出すよう声掛けする。 少人数・習熟度別指導によって、学習の定着を図り、理解を確実にする。 	
理科	<ul style="list-style-type: none"> 理科への興味が強い児童が多い。 実験を通して、学習内容を理解することはできる。しかし、条件が変わると結果がどのように変わるのか予想したり、学んだことを学習や生活に活かして考察したりすることは難しい。 	<ul style="list-style-type: none"> 観察においては、見たものや観察してわかったことを分かりやすく記録させるために、記録する視点をいくつか提示する。 実験においては、生活経験を基にして予想を立てさせることで、結果を生活に活かせるように指導する。 	
音楽	<ul style="list-style-type: none"> 意欲の高い児童がいる一方、場に合わない発言や行動をしてしまう児童がいる。 個人の技能の差がある。また、互いを認め合う雰囲気は薄く、発表する場面で躊躇してしまう児童が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ペアやグループの活動を多く取り入れ、互いを認め合い、表現の工夫を行えるようにしていく。 個々の技能を点検する時間を設け、技能の差がでないようにしていく。 	
図画工作	<ul style="list-style-type: none"> 全体指導が非常に通りにくく、授業中も私語がとても多い。 活動では興味を持ってできているが、課題意識の希薄な児童や、自己判断で活動する児童など、様々なタイプが混在している。 理解力や表現の上で周囲と差があり取り組めない児童について個別に指導する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業中のルールや自分のやるべきことを意識させた活動を身につけさせる。 様々な表現方法の素材を経験させ個性的で伸びやかな活ができるようにする。 全体指導では繰り返し指導内容を反復し、視覚的資料などで補った指導を行う。 	
体育	<ul style="list-style-type: none"> 体幹が弱い。「ハードル走」では、跳ぶたびに体をよるめかせる児童が多かった。 体のバランスをとって運動することが全般的にできない。 	<ul style="list-style-type: none"> 体づくり運動領域で、体のバランスを保つ動きで構成される運動を意図的に取り入れる。 運動に取り組む際、きまりを確認し誰とでも仲良く運動したり、友達の考えを認めたりする態度を養う。 	

外国語	ALTの発音を聞いて反復することはできるが、相手に外国語で伝えることができない。外国語を使って、会話のやりとりをすることは難しい。	<ul style="list-style-type: none">・児童が「話したい」「覚えたい」と思えるよう、外国語に親しませる。・振り返りカードを用いて、本時の活動で学んだことを振り返り、外国語で自分の考えを伝えられるようにする。	
-----	---	---	--